

研究課題番号	4-1707
研究課題名	奄美・琉球における遺産価値の高い森林棲絶滅危惧種に対応する保全技術開発
研究実施期間	平成 29 年度～令和元年度
累計予算額	132,033 千円
研究機関名	沖縄大学
研究代表者名	城ヶ原 貴通

1. 評価者の指摘及び提言概要

南西諸島の代表的な希少種であるトゲネズミ、ヤンバルクイナ、ヤンバルテナガコガネなどのいずれの種においても科学的な生息地外保全の道をつけており評価に値する。研究成果の社会への発信も十分になされており、当初の目的が達成されたものと思われる。一方、過去の試みが失敗に終わり、今回は飼育が成功した原因や、ヤンバルクイナの例でいえば個体群が回復できるかどうかなど、個体群生態学的な考察がほしかった。今後、やんばる域など、より大きな生息域の管理とのつながりを考慮しながら対象希少種ごとの保全手法を確立していただくことと、最終的な評価は域内保全の成功した時にあると思われるので、それに向けてさらに研究を発展させていただきたい。

2. 評点

総合評点：A